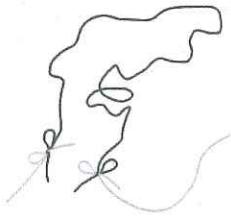


真宗大谷派 奥能登ボランティアセンター報告 No. 1

2024年3月21日



発行 がんばれ奥能登支援基金 丹波ささやま

住所 兵庫県丹波篠山市中野155

長田 浩昭 TEL090-7350-6332



穴水町で炊き出しされた札幌・浄土寺(本願寺派)
7人とセンタースタッフ 2月19日

たくさんのご支援をいただきました。本当に有り難うございます。

私個人の取り組みとして、「がんばれ奥能登支援基金 丹波ささやま」を立ち上げましたところ、本当に驚くほどのご支援を賜りました。本当に感謝いたします。

1月12日に故郷の能登半島に入った当初から、奥能登の支援には拠点となる場所が必要だと感じていました。金沢市や七尾市を拠点としたのでは、奥能登(珠洲市、輪島市、能登町、穴水町)への手は届かないだろうと考えたからです。

奥能登のどの四市町の中心部にも30分程度で行ける場所は、旧柳田村(現・能登町)しかないことは

初めから気づいていました。それも、「のと里山空港」に近ければ近いほどいいと考え、場所を探しました。

震災当初、地元の方々の避難所となっていた所が閉所になると聞き、伺ったのが斉和多目的集会所(能登町中斎 旧柳田村中斎)でした。地震の被害はほとんどなく、しかも合併浄化槽も問題はなくトイレが使用可能とのこと。この被災地の中でトイレが使えるというだけで別天地でした。



2月7日に地元区長と賃貸契約を結び、「真宗大谷派 奥能登ボランティアセンター」が始まりました。

開設からの日々

二月七日

「がんばれ奥能登支援基金 波ささやま」として賃貸契約を結び、「真宗大谷派 奥能登ボランティアセンター」の運営が始まる。

運営体制をどうするのか
私の頭の中には、
「体制を作つてから場所を探していくは間に合わない」

「ともかく場所を開ければ、何が始まるだろう」とい
うことだつた。
私も自分の仕事がある以上、
ずつとここにいるわけにはいかない。北陸の仲間たち
とどういう連携がとれるか。

二月九日 地元の中斎・神和住の住民の方々（五十五軒）へ、センター開設の報告を兼ね炊き出しを行なう。炊き出しを行ったのは、名古屋教区の「デラボラ」の四人。

二月十二日

北陸の仲間とシフトを組むことができた。私が月の十日程度滞在してもらうことになった。

スタッフは、菊池（高岡）、加賀田（高岡）、宮地（高岡）、山本（大聖寺）、藤場（金沢）、佐々木（福井）、岩垣（能登）、松下（能登）、山吹（能登）の各氏。

これまで、ようやく運営体制が整つた。

二月十九日 ライオンズクラブがシャワーブースを設置。

東北の震災でも、ライオンズクラブが震災支援を行つてきたことは、少しは聞いていた。

でも、突然やつて来るんですね。そして、水道が復旧していなことを伝えると、井戸を掘るという。翌週二十六日に井戸を掘つてみたが、結局水は出ず。



名古屋デラボラのメンバーと



— 2 —

2月9日 炊き出し・斎和集会所

2月3日、真宗本廟（東本願寺）で晨朝法話を担当しました。その時の法話が活字化され、大谷専修学院同窓生学習会の機関紙『青草』に掲載されました。今回の震災をどう受け止めているのかという内容ですでの、ここに転載いたします。

◇寺はどうや

おはようございます。兵庫県の丹波篠山から参りました。長田浩昭と言います。今回、三重教区の組門徒会の担当でここに来ております。一昨日まで能登に行つておりました。

私は36の歳まで能登教区におりました。奥能登が私のふるさとです。

マグニチュード7・6。神戸の震災は7・3なんです。7・3と7・6で何が違うかって、たつた0・3なんですけどね。地震のエネルギーは3倍。神戸の震災の3倍のエネルギーによって、奥能登が壊滅状態になりました。石川県知事は、「奥能登の9割の建物が全壊もしくは、ほぼそれに近い状態」と発言しました。実際にふるさとを歩いてみると、その言葉はまさに本当でした。東北の震災、熊本地震、そして神戸と、何度も震

災の現場を歩いてきましたけれども、町全てが崩れ去るという、こんな光景は今まで見たことがありません。

今回の震源地は、能登の先端の珠洲市高屋というところでした。その高屋という町は、関西電力が原発を立地しようとしました、まさに現地であったということを、皆さんはご存じでしょうか。そして、珠洲市は昨年5月5日にも震度のの地震があり、大きな被害を受けていました。昨年の地震の震源地は、珠洲市の寺家という町でした。そこは中部電力が原発を立地しようとした予定地だったことを、ご存知でしょうか。

この高屋と寺家という2つの地域に10基の原発を作ろうとした。その原発誘致の具体的な動きが出たのは、1989年の4月でした。珠洲の人たちが声を上げた。しかし、その代償として賛成、反対に、町は真っ二つに分かれた。友人

も親戚も「原発について賛成か反対か」によって、人々は人間関係がずたずにされた。それでも14年間の反対運動で、2003年12月、珠洲原発の10基計画は白紙撤回（凍結）になった。あそこに10基の原発が立ち並んでいたら、今、私たちはどうなっていたでしょうか。中部地方、そして関西地方で、放射能から逃げ惑いながら、何千万人もの人々の、その暮らしが失われたに違いない。その意味では、関西電力の管内に



生きる者、そして中部電力の管内に生きる者は、奥能登、珠洲の人々のことを見られてはいけない。そういう人たちが今回、被災している。

震災から12日目によく、その珠洲に知り合いを訪ねました。どうしても会つておきたい友達がいたんです。篠原敬といいう人物でした。

篠原敬は、私と同じ能登の寺の生まれでした。若いころは宗務役員として、この本山の青少年部に勤めていました。彼がその職を辞めて能登に帰ってきたときに、原発の反対運動に火がついた。彼も私も気が付いたら、その反対運動の中心にいました。そして、その原発計画が撤回される中で、彼は寺を捨て、衣を脱ぎ、珠洲焼という焼き物の陶芸家として生きることを選んだ。私は逆に能登を離れ、僧侶としても一度、丹波の地で生きることを選んだ。2人の生き方は全然違う形になりました。

篠原は現在、珠洲焼を代表する陶芸家として非常に有名になっています。でも、彼の窯は2022年の震度5の地震で半壊し、それを必死の思いで窯を作り直し、昨年の5月5日の震度6で全てが

壊れ、もう一度始めるために窯を作り直して、そして一度も火を入れることなく、ことし1月1日、また再び全壊した。そんな彼が今何を思っているのかを聞きたかったんですよ。

彼は確かに衣を脱いだ。けれども、自分で自分の焼き物を焼くその窯には、「遊び窯」という名前をつけています。遊びとは「遊び戯れる」。この游戯という言葉は、曇鸞大師が「還相回向」を明らかにするとときに使われた大事な言葉です。その意味において、彼は確かに衣は脱いだがれども、出会った真宗の教えを大事にしながら陶芸家を続けていると私は受け止めています。

その篠原を訪ねたんです。
彼と話した際、彼はこう言いました。「もつとしょげるとと思つてたやろ。でも自分は、今回の地震、良かつたと思つて」「亡くなつた、たくさんの人々のことを考えれば、軽々しくは言えんけどな」と。

「良かったと思ってる」とは、どういふことなのか。
彼は、

「去年は震度6で壊れた。その時は、自分は元に戻そうとした。元に戻りたいと。しかし今回の地震は、元に戻ることができないぐらいに全てが壊れただ。全てが壊れたら、もう一度自分的人生を踏み出せばいい。それは、元に戻すのではない。新しくその一步を始めればいい」と。

でも、僕らはあの頃と違つて、もう還暦を超えてしまつた。もう一度、窯に火を入れても、果たして10年続けることができるのか。それもわからないのではないかという私の問いかけに彼は、「確かに自分1人の人生を考えれば、わずか残りの数年のために、もう一度窯を作り、1から出直していくことは無理かもしれない。でも、次の世代が生まれている。自分ができなくなれば、次の世代にそれを手渡せばいい。その窯は、珠洲焼の火は、自分が残せること。」と前を向いているんですよ、この中で。そのままの、前を見てる姿に、逆に励まされて帰つきました。

さらに篠原は僕にこう言いました。「寺はどうや」と。
つまり「寺に残っている、教団の中に

る人々がいるに違いない。

二月二十一日
トラック風呂出動。

2トンのトラックを改造して、福井の大谷派の住職・佐々木さんがトラック風呂を作った。驚くことに1000トンのタンクに水が満たされている。風呂そのものは、一般的の家庭風呂と同じで追い炊き付きでシャワーも完備。この日から被災者でもある珠洲の岩垣さんが、風呂の必要としている集落に連日出勤となつた。

※二ユースだけを見ていると、避難所に大きな自衛隊の風呂が設置され、被災者はようやく風呂に入っているように見える。でも、自衛隊の風呂は巨大なプールでもあり、そこに入れる人は足腰の達者な人たちに限られてしまう。また、大勢で入浴時間が限られるなかで、そういう場所に行きたくない人、行けない人、様々である。断水のトラック風呂を必要とする

三月一日
齊和多目的集会所の水道が復旧した。

水道の復旧によつて、スタッフは水くみの重労働から解放された。この間、飲料水は車で5分の「ケロン村」の井戸水をいただき。また、生活用水は国道沿いの民家から山水を二〇リットルのポリタンクで合わせて一〇缶、毎日運び続けた。そして、生活の中できれほど水を使つていたのかと改めて驚いた。



トラック風呂の内部



トラック風呂出動中(能登町羽根海岸)

タになつたようです。高度経済成長の時代に作られたインフラが、過疎の現状がもたらす財政難から手が付けられず、これほどの影響が出てしまつてしまつれない。これはこの国の縮図かもしいれな

三月六日
給湯器設置。

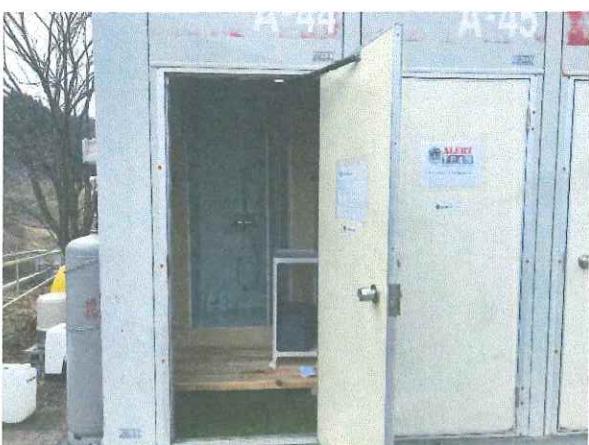
井戸水が出ないとか、排水はあつたが、ようやくな間題水されないとか、色々な問題でできた。被災地にもかかわ用題水
シャワーブース使用始まる。
水道が復旧して、初めて給湯器が壊れていることが分かつた。地元の業者に依頼されも佐々木さんネットで取り換えてしまふから、給湯器なんか簡単でねう。湯器が壊れていることが分けていい。それでは何時で流通も地震の影響を強く受けている。それでは何時で、新品を取り換えてもらつた。トランク風呂製作するぐらいのところ、商品がいつ届くかは分からぬとのことだよねう。

三月十四日
能登町のケーブルTVを使えることが分かり、Wi-Fiを設置することができた。

※2月、3月は炊き出し隊の滞在が中心だった。これからは、家屋からの荷物だし等の片づけが増えていくようを感じている。まだまだ、先は長そうだ。

らず、シャワーが当たり前でできるようになつた。快適！快適！。少しは疲れがとれる。ボランティアに来る方々には朗報です。ボランティアに来

奥能登ボラセン	
利用者数	
(スタッフ含む)	
2月7日～29日	71人
3月1日～15日	72人



左から二つがシャワールーム



ライオンズが持ってきた倉庫

残っている、お前たちはどうなんだ」と。

9割の建物が全壊している。それは、大きな家、大きな屋根がペしやんこに潰れてるってことです。ということは、それよりも先に、さらに大きな寺の本堂は崩れ去った。珠洲市45カ寺（大谷派）あまりの中で、建っている寺というのは数少ないです。珠洲市1万2千人の人々の中で、もうすでに4千人が能登を離れた。2次避難ということで県が準備してくれた旅館、ホテル、または金沢より南の親戚を訪ねて、4千人がもうすでに珠洲を離れた。その人々の多くは、過疎化、高齢化の中で生きてきた80代、70代の人々。果たしてどれだけふるさとに帰つてくるのか。ふるさとを離れ、その避難した場所で残りの人生を終わらせていく人々も、おそらく少なくないのでしょう。

能登の寺は今まで、本堂の修復、庫裏の建て直しの際、「門徒1戸当たり何十万」という、半ば強制的に金を集めて、どでかい寺と庫裏を建ててきたんです。またそんなことができますか。門徒さんはいなくなっているんです。もしも今まで

と同じような考え方で、「何かあれば、門徒に投げつければ、ちゃんと金を集め」って、そんな考え方をもう一度すれば、その時点で総スカンだ。つまり、徳川から始まつた400年の寺壇制度が終わつた。その上にあぐらかいて、厚い座布団に座つとつた、寺の歴史は崩壊した。

ならば、寺とは何か。その被災の現場の中で、僧侶とは一体なんなのか、何をすべきなのか。復興するというのならば、一体どんな建物を、何をするための建物をつくるのか。篠原は「寺はどうなんだ」と、私に問い合わせたんだと思います。

輪島市、能登町、穴水町、珠洲市。この奥能登の4つの町だけで大谷派の寺は180カ寺を数える。それは、全ての集落に大谷派の寺があり、大きな伽藍の屋根が見えるということです。その集落の人たち全てが被災をした現実の中で、再び9間（1間＝1・82m）や11間の御堂が建つことはないですよ。

なら、どんな場所をつくるのか。6畳一間でいいんじゃないですか。8畳の部屋でいいんじゃないですか。こんな（御

影堂のような）場所、要りますか。本当に人と人との向き合い、そこで改めて苦労や悲しみを共にする。そんなお寺でいいんじゃないですか。

そうするとね。もうひとつ地震によつて壊れたことがあるんですよ。それは何か。貴族となつた大谷家の権威を借りて、それに近づこうとした序列が生まれ、衣の色を変え、そして座る場所まで決められてきた。さらに本山や別院でしかできないようなお勤めをつくり、末寺ではここまでだと、勤行次第も規制されってきた。そんな序列に満たされた、権威に満たされた、門徒さんはついてこれらないよう、特別な仕事のようにして、

声を張り上げてお勤めをするような、そんな親鸞の生きざまから遠く離れた儀式も壊れたんだよ、もう。6畳一間の部屋で登高座やるか。行道散華やるか。チャラチャラした衣着てやるのか。そんな儀式も、もういらはないんだ。

「本当に、人間の悲しみに向き合つているのか。そんな坊主としての一歩をお前たちは歩んでいるのか」つて。「おまえたちは前向いとするのか」つて。篠原敬が、私や教団に生きるものに問い合わせ

2024年3月21日現在 190件ものカンパをいただきました。本当にありがとうございました。

入金順（敬称略）

善明直美 倉垣板金 末千恵子 佐竹薰 藤堂啓 谷口一浩 三島清圓 伊藤康 島野政友 越本達了 土肥人史 塙山和成 谷大輔 加賀田榮香 黒田進 松崎勤 平川宗信 ハンセン懇有志支援の会 高橋法信 佐々木尚文 備後組 FC 保養事業実行委員会 前田義朗 杉浦香 井上温成 佐藤明了 橋出 光専寺 藤井学昭 早寄和典 今泉温資 松本良平 石川祐一 松岡由香子 井上英実 結柴 依子 法養寺 順信寺 禿ユウコ 金津正嗣 相場行宣 山内小夜子 清水正人 山田世尊 称念寺 西田俊一 藤田順一 秋吉正道 高橋浩 後藤由美子 奥村和子 内藤新吾 安達文子 永藤宏和 鳥越一志 青柳林 山本靖 植野勝 植野重和 常光寺 渡辺智子 酒井寛興 岸本恵 豊田靖史 川瀬香里 菊池正人 後藤順 四衢亮 野嶽彰憲 山崎育子 井本徹 日野範之 大河内秀人 中島 正泰 宮地修 増田幸生 巨谷学 本多倫子 中野自治会 水上勇 伊藤孝順 中島哲演 浄運寺 原田祐生 上山俊彦 小野光人 木村英淳 加藤輝雄 宝田院 松下幸市 江隈智 多賀徹生 原田 幸英 寺田芳樹 高科行 金石潤導 石川信暁 金浦泰成 岡山巧 相良晴美 近藤龍麿 田沢仁美 瀬田晴江 曾我謙成 西岸寺 生田亮 酒井正夫 松本毅 青柳泰子 田中顕昭 松井勇 皆田法士 久米悠子 藤川秀行 栗林宣行 光徳寺 井上迅 玉山トモヨ 菱木政晴 宮崎善之 薄井候 浜口 和也 定司さん 藤井豊 田中峰彦 高橋ゆかり 酒井義一 辻俊明 西山誠一 大谷専修学院職員 斎藤陽子 羽深一浩 菅井益郎 岌山智光 桂隆雄 立山映 プライス多佳子 梅森寛誠 中西文雄 斎藤恵 藤井洋 大阪教区第三組 内桶克之 赤松範秀 高科行 小武正教 ふくい災害ボランティア 北海道災害被災地支援 岡学 藤井大介 藤原勲 塙山和成 青柳林 順正寺 北海道教区じゅがネット 植野正人 岡村一成 宮地修 因伯組有志 藤枝良太 土山正徳 熊野さん 高橋さん 後藤由美子

以下26件は私の方で特定が出来ない方々です。ご一報いただけたら助かります。

ホッカイナナジョウキヨウ よコタアキオフクオカク フクナガユキコフクオカ
 ヒロスマコシヒロシマケン クズハラユヒメジヒメシ ヨコヤマケイココウベシ
 コマザワタスクナガオカコ アンラクジコバヤシヒロ シロトリミチコサンジョウシ
 ナカノヨシコ タカハシ セイコウ オカダトシコ ササキサカエタカマツシ
 イシジマサルフクイワカサ ヒラノカズミホッカイドウ オモテヒジリスギナ キ
 ダマスコキヨウトトクショ カシワバラヒラカタシクズ ガンショウジ ギョクセ
 ンジオオサカシ コボリノリオ ナカノマリココウベヒガシ ハヤシカズヨキヨウ
 トシ クワタマサヒトキヨウガ ミシマケイコ カツサイカガワチュウサンソ

たんだと思います。
時間が来たようです。これで終わりま

引き続きご支援をお願いします

振込方法

口座名義 「がんばれ奥能登支援基金 丹波ささやま」

銀行支店名 丹波ささやま農業協同組合 丹南支店

口座番号 0100904

※お振込みいただける際は、カタカナ14文字まで、名前と住所の明記をお願いします。

例 「オサダヒロアキタンバササヤマ」

※センター用のアドレスを設定しました。E-mail : osada813@ca3.luckynet.jp